

水質測定、正確さ競う



水の硬度の測定に取り組む生徒たち

秋田工・森川さん優勝

化学分析

化学分析部は、由利本荘市の由利工業高校で

開催。同校と秋田工高の2、3年生計9人が出場し、水質測定の正確さを競った。

競技課題は、2種類の試料水の硬度を測定し、カルシウムやマグネシウムの含有量を算出する内容。規定時間は2時間半

で、生徒たちはカルシウムやマグネシウムに反応する薬品を使い、水の色合いが変化するのを慎重に確認し、結果を記録した。

審査の結果、秋田工高工業化学科の森川晴入さん（3年）が優勝し、7

月下旬に福島県で開催される東北大会の出場を決めた。2位と3位は由利工高環境システム科の阿部永侃さん（同）、井嶋達都さん（同）が入った。優勝した森川さんは「初めての出場で緊張した。技術をさらに高めて

東北大会に臨みたい」と話した。ものづくりコンテストの県大会は、県高校教育研究会工業部会の主催。ものづくりへの関心と意欲を高め、人材育成につながる狙いで、毎年開催している。（遠藤卓之）